

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		国民健康保険運営協議会経費		担当課 国保年金課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間 昭和36年度～
	施策	社会保障の健全運営		種別 法定事務
	基本事業	国民健康保険制度の健全な運営		市民協働
予算科目コード		02-010301-01 単独	根拠法令・条例等	国民健康保険法第11条

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
国民健康保険法第11条の規定に基づく設置義務により、国保事業の適正な運営を図るため開始した。	市長から諮問があったときや、委員の半数以上から審議すべき事項が示され、会議の招集の請求があったときに開催し、案件を審議する。 審議内容は、一部負担金の負担割合・減免、保険税の改正・減免、保険給付の種類及び内容、保健事業の実施大綱の策定などである。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
被保険者、保険医または保険薬剤師、公益代表者それぞれの立場の意見を調整し、国保事業を円滑に運営する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
保険制度の理解とともに、適正な負担と利用を推進する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
国民健康保険事業の運営に当たり、同協議会委員から広く意見を聴き公平・公正な事業運営を行った。	引き続き、同協議会委員から広く意見を聴き公平・公正な事業運営を行う。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
審議事業数のうち審議会の意見を反映し実施した事業実施率	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
運営協議会での諮問件数	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	今年度（H28）は諮問案件がなく、審議した事業数も前年度同数であったため。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	国民健康保険法第11条の規定に基づく設置義務によるものであり、現状維持とする。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	231	109	126	279	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	231	0
	一般財源	231	109	126	48	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	255.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	1,046	0	0
トータルコスト		231	109	1,172	279	0

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		国民健康保険趣旨普及費		担当課 国保年金課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間 昭和60年度～
	施策	社会保障の健全運営		種別 任意的事務
	基本事業	国民健康保険制度の健全な運営		市民協働 補助事業
予算科目コード		02-010401-01 補助	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
国民健康保険制度の周知により、被保険者が適正な保険制度を活用できるよう、啓発事業として開始した。	国民健康保険制度の趣旨啓発を行う。 国民健康保険の制度に関するパンフレットを購入し、新規加入者に対し加入手続き時に配布、又は既加入世帯に対しては納税通知書送付時に同封する。 保険証更新時に国民健康保険制度（主に資格、給付）に関するパンフレットを、保険証に同封し各世帯に配布する。 高齢受給者証送付時に高齢者医療に関するパンフレットを同封し配布する。 また、広報紙や市ホームページも活用している。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
国民健康保険制度の趣旨を周知し、被保険者の制度に対する理解を深め、適正な制度運営ができるようにする。	
（参考）基本事業の目指す姿	
保険制度の理解とともに、適正な負担と利用を促進する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
納付書発送時及び国保新規加入時にパンフレットをもれなく配布したことで、制度の理解を深めることができた。	引き続き、納付書発送時及び国保新規加入時にパンフレットを配布し、制度の理解を深めてもらい、正しい資格加入届け及び喪失届けをしてもらう。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
配布世帯（世帯）	8,374.00	83,740.00	8,242.00	8,169.00	8,169.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	被保険者世帯数の減少により配布世帯が減少したが、対象世帯にはもれなく配布することができた。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化。 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	引き続き、納付書発送時及び国保新規加入時にパンフレットをもれなく配布し、制度の理解を深める				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	656	545	522	603	603
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	603	603
	一般財源	656	545	522	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	33.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	135	0	0
トータルコスト		656	545	657	603	603